



1学期が終わります

1学期がいよいよ終わります。振り返ると、子どもたちと教職員が夢中で取り組んだ1学期でした。

無事、1学期を終えることができるのも保護者の協力のおかげだと感じています。ありがとうございました。

子どもたちは、学校を離れ、家庭に戻り、夏休みに入ります。充実した夏休みを過ごすことができるように、各ご家庭でもお子さんとお話をしてください。



終業式では次のような話をします。

おはようございます。

1学期も今日で終わりです。1学期には、どんな勉強をしましたか。それから、どんな行事をおぼえていますか。うれしかったこと、がんばったこと、くやしかったこと等、いろいろなことが思い出されると思います。

さて、4月の始業式で、校長先生が皆さんに贈った言葉をおぼえていますか。「やればできるは魔法の合い言葉」です。

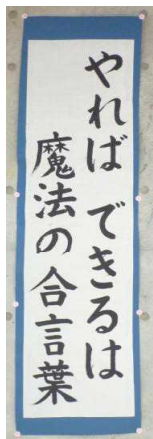
やろうと思ったらやってみる。何度でもやってみる。そう思ってやってみたら、魔法にかかったように、できるようになってしまったこと。みなさんは、この1学期にどんなことに取り組んでどんなことをがんばりましたか。

校長先生は、全校のみなさんがとても頑張ったことがあると思います。それは、コロナの影響が、たくさんある中でも、明るくみんなが助け合って学校生活を送っていたことです。

そして、当たり前のことかもしれませんが、いつもみなさんの下足入れは靴がきちんと整っていました。それから、普段の学習に一生懸命に取り組んでいました。校長先生は、とてもうれしかったです。

さあ、明日から夏休みです。皆さんは、自分の夏休みの目標を立てました。目標に向かって、夏休みを過ごしてください。一番大切な事は、「自分の命を守り、安全で元気に過ごす」ということです。

安全で楽しい夏休みになることを願っています。また元気で8月27日の始業式に会いましょう。



「スマホ・ゲーム」から離れた夏休みを

夏休みになりますが、コロナの影響で外出も制約があり、家の中での生活が多くなります。

ゲームをしたり、動画を見たりする時間が増える可能性があります。

何度か学校だよりで「スマホやゲーム依存」を取り上げてきましたが、この夏休みは、とても心配しています。スマホ・ゲームから離れた夏休みが、送れないものでしょうか。

○子どものスマホに機能制限を

「フィルタリング」は、かかっているでしょうか。また、自分のスマホでなく、大人のスマホを借りたり、中古のスマホを使う児童もいます。大人のスマホを貸し与えれば、子どもは対象年齢に合わないアプリを使ったり、大人向けのサイトを見てしまったりと、トラブルに遭遇する可能性があります。

子どもが利用するネット機器は、必ずフィルタリング等の機能制限を行ってください。

特にフィルタリングのかかっていない中古スマホを子どもには使わせないでください。

○ゲーム依存になっていませんか

本校の児童でも、オンラインゲームを友達とかなりの長時間やっているようです。このように、家庭で保護者の下での管理・監督ができていない状況は、とても心配です。

子どもが、どれだけゲームをしているのか、どんなゲームを誰としているのか等に気を付けてください。

ゲームをする上限時間の約束を決めて守らせる。また、ゲーム以外の別の楽しみを見つけさせることも大切です。

○SNSトラブルは、元に戻せません

SNSを使った発言、動画や写真の投稿は、本当に注意しなければなりません。一度行われた内容は、デジタル・タトゥー（一旦インターネット上で公開された書き込みや個人情報などが、一度拡散してしまうと、後から消すことが極めて困難であることを、入れ墨に例えた比喻表現）になり、元には戻せません。

トラブルが起こると、友人関係も元には戻せません。危険なこと、心配なことを親子で話し合ってください。

コロナから身を守る工夫を

変異型のデルタ株への移り変わりが進展し、大変に心配される状況の中で、子供たちは夏休みを迎えます。コロナの感染に対する心配や恐れ（6月の学校だよりで掲載）を多くの子供たちが感じています。夏休みで家庭での時間が長くなります。

「コロナに対する子供たちの不安」「家庭でできるコロナから身を守る工夫」について、本校校医の隈部桂子先生からご指導をいただきました。

ご家庭でお子さんの方へ話をしていただき、実践していただく参考になれば幸いです。

○「コロナに対する子供たちの不安」から

みなさんは、新型コロナウイルスに大きな不安や心配をもっていると思います。

自分が感染したらどうなるのか、家族に感染しないのか、命の危険はどうか等です。

1つ目に、これまでの様子（臨床）から、子供が感染する率は低い（有病率）ということです。

2つ目に、命がなくなっているケースはなく、比較的軽症であるということです。

3つ目に、みなさん（子供）から、家族（大人）に感染させた例は、ないということです。

しかし、これまでやってきた感染防止の取組は、とても大切です。マスクの着用、手洗いと消毒、3密を避けることです。

不安な気持ちになるので、メディアばかりを見ないで、読書をしたり、自分の心で物事をよく考えたりすることが大切です。

○「家庭でできるコロナから身を守る工夫」

感染防止の取組をしながら、夏休み中は特に「規則正しい生活をして免疫力を高めること」に取り組んでほしいです。

一番大切にしてほしいことは、「食事のバランス」です。しっかり食事をしてください。

その食事で、お腹の中の細菌を整えるということです。冷たい物ばかり、飲んだり食べたりしているのはダメです。

何でもよく食べるということが大切ですが、納豆・梅干し・黒酢・いか・たこ・醤油などに、コロナから身を守る栄養があることがわかってきています。（長崎大学医学部・アミノレブリン酸による感染抑制）

併せて、お風呂をシャワーで済ませないで、湯船につかることが大切です。

次に気を付けてほしいことは、トイレです。

家庭のトイレの使ったときに、フタをしてから水を流す、手をあらった後のドアノブと手の消毒を確実にしてみましょう。

また、どうしても家族で外出した時などに家庭以外のトイレを使う時は、余計な所は触らないで、トイレの後はよく手を洗い、携帯用の消毒液で確実に消毒をしましょう。

子供ってすばらしい～児童会の取組から～

～たくさんの「ありがとう」が集まりました～

1学期末を迎えた7月中旬に、児童玄関ホールの大壁にテレビに「ありがとうカード」の紹介が、映し出されていました。

この取組は、本年度の児童会活動の「安心できる学校」の中の1つの取組です。

「ありがとうの気持ちを伝えると、学校に笑顔があふれ、優しい気持ちがいっぱいになると思います」（児童総会の提案資料より）

これらを読んでいる方も温かく優しい気持ちになります。子供たちが考えて子供たちが取り組む活動は、すばらしいなど感心しました。

ここでは、「ありがとうカード」のいくつかを紹介します。◇は、教員へのメッセージです。

- 算数の時間に角度の問題を教えてください。ありがとう。
- いつも連絡帳を書いてくれてありがとう。
- いつも話しかけてくれてありがとう。これからもよろしくお願いします。
- ◇いつもおべんきょうをおしえてくれてありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。
- いつも手伝ってくれてありがとう。すぐくたすかります。これからもよろしくね。
- いつもさそって、なかよくあそんでくれてありがとうございます。
- いつもあそんでくれてありがとう。これからもともだちでいようね。
- ◇いつも、みんなのことを考えてくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- とうこうはんのとき、あつくて、そしたら、「みんな水のんで」といっていたから、ありがとうございます。
- いつも（登校班の）副班長でみまもってくれてありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。
- いつも、わたしのはなしをきいてくれてありがとう。
- 算数の時、分かりやすく教えてください。ありがとう。また算数教えてね。
- ◇一学期ありがとうございます。分かりやすく、こんなふうに伝えればいいかを教えてくれたので、上手に伝えることができました。ありがとうございます。
- いつも会うたびに手をふってくれてありがとう。登校班が変わったけど、これからもよろしくね。

夏休み中、子供たちのことをよろしく願います。
私たち教職員も充電し直して、「前に進む 相川らしい教育」のために2学期も頑張ります。